

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 1878

エポニックス#3100GHプライマーサーフェーサー

1. 一般名 エポキシ樹脂サーフェーサー 厚膜形
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴 1) 耐放射線性、耐水性、耐薬品性にすぐれている。
 2) コンクリートとの付着性が良好で、刷毛塗り、エアレス塗装時の作業性にすぐれており、厚塗り塗装が可能である。

4. 塗料性状

項目		内容			
容姿		2液性			
荷姿		20 kg \times 2 (主剤: 16 kg、硬化剤: 4 kg)			
色相		白			
光沢		つや消し			
密度 (23°C)	塗料	1.33			
	揮発分	0.87			
加熱残分		63%			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	指触	90分	60分	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	6時間	5時間
標準膜厚		100~250 μ m			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		ディスクサンダー処理 pH10以下、含水率5%以下(Kett HI-520)			
調査法		主剤: 80部、硬化剤: 20部(重量比)			
熟成時間		約30分間放置			
可使時間	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
		20時間	14時間	6時間	3時間
使用シンナー		エポニックスシンナーB			
塗 装 法	塗装方法	ローラー塗装			
	希釈率	原則として希釈せず			
	標準使用量	0.80 kg/m ²			
	標準膜厚	250 μ m			
ウェット管理膜厚		500 μ m			
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	最小	48時間	24時間	15時間	8時間
	最大	14日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ塗料は、シンナーを加えても使用出来ない。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェスにて清掃してから塗装すること。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2023.11